

私の半世紀

向島 大久保 泰三

私は来年、五十歳を迎えます。もう半世紀生きたんだという思いと、まだ人生これからという思いが交差する年齢です。

私は昭和四十二年に松本市栄町に生まれました。松商学園を卒業後、コンピュータの勉強がたくて横浜の専門学校に進学しました。

卒業後、コンピュータ関連の会社に就職しました。当時は仕事が山のようにあり、土日出勤も珍しく無く会社に寝泊まりすることもしばしばあり、残業は月百二十時間を超えました。五年間そんな生活



ある時期よりもう一度、会社でプログラムを開発したいと思うようになりました。気が付くと十五年も講師としての時間が流れていました。大手建設会社に転職した私は建築設計プログラムの開発チームに配属されました。大変



平成29年3月1日現在

総世帯数	1,469世帯
総人口	2,705人
男	1,268人
女	1,437人

を送り、以前からやってみてかったゲームプログラムの会社に転職しました。この会社はさらに忙しく家に帰るのは一週間に一度なんてこともありました。

そんな折、知人から「専門学校で講師をしてみないか」と誘いを受けて会社を退職し専門学校でプログラムを教えることになりました。学生と過ごす時間はとても楽しく、放課後も一緒にゲームの開発や時にはカラオケなどにも行きました。また、卒業した学生より飲み誘われたり、あるいは結婚式に呼ばれたりもしたことは今でも楽しい思い出です。

手づくり絵本「桃太郎」を全戸に配布

小池町公民館長 碓屋 公章

天神祭に曳き出される小池町舞台の彫刻を挿し絵にした絵本を、昨年度町会で制作しました。当初子ども会のみならずにお配りしたところ評判がよかったので、本年度は町内全戸配布にしようと、子ども会とPTAの協力をいただき、町会公民館で制作作業をしました。その絵本「桃太郎」のあとがきをご紹介します。



製作作業の様子

『小池町の舞台と「桃太郎」舞台のちようど子ども目の

でしたがとてもやりがいのある仕事でした。

紆余曲折の後、現在私は向島で焼き鳥屋を始めて二年になります。お得意様も増えて毎日楽しく過ごさせてもらっています。

この松本の地で一花咲かせられたらと思っています。

の高さの位置に、桃太郎のおとぎ話の世界が展開されています。下高欄の手すりに沿いながら一周すると、「むかし、むかし、あるところにおじいさんとおばあさんが…」からはじまり「めでたし、めでたし」で完結する桃太郎一代記が、豊かな表情でみごとに彫刻されています。

町内の子どもたちが、その友達やさらに小さな子に舞台の彫刻を指さしながら、桃太郎の話語り聞かせている姿を想像しながら、この小冊子を制作いたしました。いつか幼いころ、大人たちから耳にしたとおりの語り口で、また童謡で歌われている歌詞のままで、素朴に表現いたしました。「ももたろう」は「百に足る」で長寿を表してもいます。桃は生命力に富み邪気を払う力があると信じられています。



桃太郎の彫刻

す。桃太郎のお供は「犬、猿、雉」で犬は仁義を知り、猿は知恵があり、雉は勇気があるという意味から、智仁勇の三徳をそなえたものは、必ず困難を打ち破るとされました。子どもが健康に育ち、三徳を身につけることで、世間の鬼に負けることなく、また自分の心の中に棲む悪い鬼も退治して、立派な大人へと成長していくことを教えています。

第二地区旧町名碑

長沢町



長沢町旧町名碑

長沢町の町名由来です。

春待ち落語寄席



和泉家志ん治師匠

2月25日第一地区公民館で、公民館、福祉ひろば、人権啓発協議会共催による落語会が開かれた。春の日差しが感じられる暖かな日にめぐまれ百人を超える人が楽しんだ。

和泉家志ん治師匠による落語、弟子の和泉家びーすさん

地域包括ケアシステム勉強会 (2・16) 報告

支え上手な第一地区になるために私たちは何ができるか、何が必要なかを考えるための勉強会第二弾が行われ、約90名の方々が参加しました。

町会ごとにテーブルを囲み、既に第一地区にある「人々が集まっている場」また「ケアの視点を持った行動・取り組み」がどのような形でどの程度行われているかのワークショップを行いました。

によるネタをばらしながらのマジック芸の面白さが笑いを誘った。



和泉家びーすさん

続けて、身近にあったらいいと思う場やサービスについて話し合う中で、市街地でありながら買い物で不便であることや自由集えるサロンの場が欲しいことなどが出されました。

出された課題を整理し、次回は新年度に行われます。



「男の料理教室」に参加して

小池町 関口 隆男

2月3日、ひろば事業の「男の料理教室」に男性9名で参加。齊藤勝幸講師の指導で鶏から揚げ辛味ソース、焼売白菜巻き、玉子スープワントンの3品を調理。3班に分かれ四苦八苦しながらも、時間内に完成。

焼売の大きさは不揃い、スープは辛めと、これが男の料理との見事さに笑みも出る。材料の下準備



や調味料の分量を正しく計る等を学び、初挑戦の人、ベテランの人も意気投合。先生の講評を聞きながら話しに花を咲かせ、楽しい一時を過ごした。(さて家で再現は?)

出張ふれあい健康教室

一宮村町二丁目・二丁目編

2月17日。宮村町二丁目の公民館で宮村町二丁目との合同のふれあい健康教室が行われ、血圧測定・ストレッチ体操・ゲーム・茶話会を30名の参加者が賑やかに楽しんだ。

出張ふれあい健康教室とは、地区内の町内公民館に向いて行う健康教室のこと。福祉ひろばの2人のコーディネーターは「どこにでも伺います。気軽に声をかけてください」と呼びかけている。



楽しくて笑顔いっぱいの健康教室でした。

すすき川

待ちわびていた春が来ました。草木が芽吹き、花が咲き、人も植物も春の光の中で輝く季節になりました。

春にはたくさんの方が咲き始めます。道端のタンポポ、畑には菜の花、花壇ではチューリップや水仙、お花屋さんには、フリージアやミモザなど黄色い花が目につきます。春に咲く花は、黄色いものが約半分とも言われます。日本で咲く花の中で、黄色は一番目に多い色。一番多いのは白で、二番目は青や紫色とのこと。

黄色は有彩色の中で一番明るい色で、お日様の色を黄色とイメージするように、明るさや楽しさ、活発や幸福などを表すポジティブカラーだそうです。黄色い花を見ると元気になるのは、黄色の色が持つパワーなのかもしれませんね。

花を見るときは、日本人は何といても桜。そろそろ松本の桜の便りも聞かれる頃です。この第一地区では薄川の桜が見事です。服装も心も軽くなるこの時期に、薄川をお散歩してみても良いかもしれませぬ。

(茅野)

